

では、3階屋根裏→2階へ引越し(この時は全くでず)大変でした。引越しして疲れたので。
そのころ、「なかなかいいよー」とグチをこぼして行っていた喫茶店の人に
「うち、一部屋おいてから、来なよ!」と言われた。迷ったものの、
黒沢さんのダメおしもあつたし「... いいですか?」とお願ひしたの?
5月のこと。

かくて、私は北塩原村 宇 甚九郎沢山 (宇 曾原 姓とあります) の
喫茶と雑貨の店 「碧い月」の屋根裏にいろいろすることに
あいなつたのであります。
そして、6月あたまで10月19日まで、ここで生活しました。

「碧い月」はあくまでもいろいろで、その後私の住居探しは系続いてました。
早稲沢の知人に、「使ってみる?」と教えてもらって、身に行ってみたり、
「松原の5,000円」という物件も話を聞きに行ったりしました。松原の方は
近々環境に公共施設がたつらしく、だめだったし、早稲沢の方も冬は
お寒いも使うので、葉っぱいかなと思つてあきらめ。この人は、他も
電話して聞いてくれたのですが、突りはなし。

それと別に、前から気になっていた建物があった。それが貸りられかもしぬけ、
という言葉もあつたのですが、「男の人で、草刈りなどもしてくれないダメ」と言われ、
「草刈りはできる!!」と言ったけれど、家主さんのOKは出ませんでした。

実は、「碧い月」いろいろを決めて、電気ガス電話等の移転手配を済めた
日に、「村が管理している(通称)消防住宅が1つあった」という話があつた
のですが、また手続を直すのもめんどうだったし、もう少し探そうと思つたので、
そこへは行かなかつたのですが、糸吉局、さんざん探してどこもなくて、
運よくこの物件はずっとあつたままになつたので、10月に入居して「入居
したんですか」と役場支所へ言ひに行き、10月19日から住みはじめました。
金糸筋2階立。下2世帯は老朽化してあるので入居させない建物で、2階皆
2世帯を貸しているという所です。隣りの人は12月17日に引越しして、
すこゝ次の人が翌日から入居しました。私が情報を取つた物件が今は
入居しています。

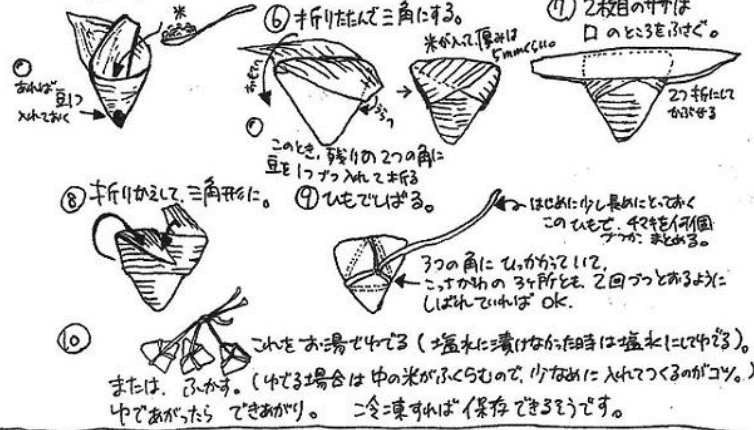
当然、ここにいろと思ひます。一住主人でたりして。

★系集修記の2冊261頁! 赤子のあはれ あつたり、おんむ
下した うまい、です。
陽も射してあつたり



千枚のつくりかた

- 夏バイトはなかで、蛇年の人から千枚の作り方を教わつた機会がありました。
- ① もち米を一日水に漬けておく(「うるちす」といふた)。塩水でもよい。
青豆(大豆の一種?)も同じく漬けておく(なぐてもよい)。
 - ② 次の日、山へいって笹の葉をとってくる。上の方の新しい葉(緑色の三日月
のような)を取る。
 - ③ 笹の葉を軽く水で洗う。
時間がたつと葉が乾かしてしまうので、すぐ作れるようにしておくこと。
 - ④ 千枚をしばりむち(ビニールの細むちで作るか、巾着がふらしい)を
50cmくらいの長さで用意する。... じゃ、ちやうど長いかね?
 - ⑤ 水を切つたもち米を1枚目の笹の筒のところにいれる。大きさをアーンで
ひとじぶんくらいの量でよい。青豆がある時は、角になつていへん入ると、
米がもたなくてよい。



人をあつた情報、のり欲しい原稿、かんそう、ごいけんお待ちしおまつ。
発行責任者: 高橋真希 (12月17日) tel. 0241-32-2570
〒989-27 耶麻郡北塩原村宇 甚九郎沢山 森管理棟
- 8 - ★おんむの向合せニ355